

いーーいの家通信

こどもの杜 いこいの家
静岡市葵区城東町二四番一號 TEL二四九・三一九〇



お母さんの詩

「桜の花のように」

〇くん(6歳)のお母さん

平成最後のスーパーハーモーンの日に私たちの息子は生まれました。予定日より早く突然の緊急帝王切開。翌朝、救急車で医療センターに運ばれ、夫が一人で病名を聞きました。その時初めて夫が泣き崩れる姿を見て「息子をどんなことがあっても守り育てていこう」私たち夫婦はそう強く心に誓いました。

大きな手術を乗り越え生後半年でやっと退院。あの頃は毎日が必死で気づけば1年が過ぎていきました。頼れる人もいない中、ある日勇気を出して電話相談をしました。そこから少しずつ世界が広がり支えてくれる人たちと出会うことができました。

2歳から児童発達支援に通い始め、息子も外の世界と繋がることで少しづつ笑顔が増えていきました。3歳の頃には発達がなかなか進まず良いリハビリも受けられず悩んでいた。

平成最後のスーパーハーモーンの日に私たちの息子は生まれました。予定日より早く突然の緊急帝王切開。翌朝、救急車で医療センターに運ばれ、夫が一人で病名を聞きました。その時初めて夫が泣き崩れる姿を見て「息子をどんなことがあっても守り育てていこう」私たち夫婦はそう強く心に誓いました。

大きな手術を乗り越え生後半年でやっと退院。あの頃は毎日が必死で気づけば1年が過ぎていきました。頼れる人もいない中、ある日勇気を出して電話相談をしました。そこから少しずつ世界が広がり支えてくれる人たちと出会うことができました。

2歳から児童発達支援に通い始め、息子も外の世界と繋がることで少しづつ笑顔が増えていきました。3歳の頃には発達がなかなか進まず良いリハビリも受けられず悩んでいた。

令和7年12月1日
No. 520

でいた為、思い切って東京のリハビリセンターで2か月間親子入院をしました。そこで出会った沢山のお友達とお母さんやお父さんの頑張る姿に励まされ私たちも「息子のペースで頑張ろう」と思いました。

年少の年にいこいの家に入園。初めは泣いてばかりでしたが先生方

が丁寧に寄り添い、たくさんの愛情を注いでくださいました。そのおかげで年中になる頃には「盛り上げ番長！」と呼ばれるほど元気いっぱいの笑い声が教室から聞こえてくるようになりました。先生方は「椅子を変えてもいいですか？」「着替えの時お尻をあげて手伝ってくれます」「トイレで初めて成功しました！」など細かい所まで気を配り成長に合わせてチャレンジさせてくれます。毎日お迎えに行けなくとも、アプリにビッシリ一日の頑張りを書いてくれるので、コメントを読むのが私の楽しみでした。廊下に張り出される写真の中でも私たちが知らない笑顔でとても楽しそうに笑う息子を見るとともに幸せな気持ちになります。いこいの先生方に支えられて愛情に包まれとても成長出来ました。いこいの家の経験や

先生方、一緒に頑張っている親子さんとの出会いは息子が繋いでくれたかけがえのない世界です。息子を通して出会ってくださった全ての方に感謝しています。

息子の名前には桜という字が入っています。「桜の花のようにその存在が見る人の心を癒したたくさんの人へ愛される子に」そんな願いを込めました。その願い通りこれまでたくさんの方から深い愛情をいただき支えられて成長してきました。そんな息子も来年小学生になります。これからは息子自身がその愛情を受け取るだけでなく、周りの方に笑顔や優しさを届けられる子になって欲しいなと思います。

3年間本当にありがとうございました。



令和7年度

いこいの家



10月29日～31日の3日間にかけて2クラスずつ合同の運動会が行われました。クラス競技では保護者や他のクラスのお友だちに日頃の練習の成果を見てもらい、元気に楽しく頑張ることができました。親子競技はどのクラスも大盛り上がり！賑わった3日間の運動会の様子をお届けします♪



いちごクラス 「行くぞ！大阪万博」



ばななクラス 「アンダー・ザ・シー」



聖火退場
しま～す！





七五三のお参り

に行ってきました！

11月14日、城東保健福祉エリアの隣にある熊野神社に七五三宮参りへ行ってきました。お天気にも恵まれ過ごしやすい気候の中、クラスごとみんなのこれまでの無事に感謝し、成長祈願をしました。最後にクラスで集合写真をパシャリ。千歳飴のかわりに、ほほえみ工房さん（就労移行支援B型事業所）のクッキーをもらいました。



七五三のお友だち紹介！



かわいい
クッキーを
もらいました♡